

火災で逃げ遅れ……について - 西日本防災システム

火災でお亡くなりになった際に よく **逃げ遅れて** と表現されます。

火災発生が判っているのに 逃げるのが遅れた原因とは何があるのでしょうか？

たとえば 寝ている子供を起こす？お年寄りに行動を促す時間を要する？貴重品を集めていた？

有効な避難方向を見つけられずに時間が経過してしまった？ 初期消火を試みている内に 時間が過ぎた？ いろいろ想像できるのですが、根本に存在する最も大きな原因は

火災覚知が遅かった！ ではないでしょうか。

大きな建物であっても戸建て住宅でも同じだと思います。早く火災を発見できれば 早く初期消火できますし、早く避難行動もできます。通報も早いですよね。

ですが火勢が大きくなって煙も充満状態で覚知しても 何の行動も起こせないですね。

(スプリンクラーなどの自動起動による消火設備が設置されている建物は別ですが。)

その大きなとても大切な意味を込めて住宅用火災警報器の設置が義務化となったんですよ。

一秒でも早く目覚めてもらおう！ 異常を知ってもらおう！これなんです。

ですから大きな建物で誤報が多いので自動火災報知設備の音響を強制停止にしている なんてことは 論外ですね。

いち早く火災を覚知して避難！ その際煙から避難階段を守ってくれるのが**防火扉**です。 停電になって廊下が真っ暗でも **誘導灯**が私たちが避難口へ導いてくれます。

出口はどこだ?? なんてことはありません。

このように考えてきますと、消防用設備の全てにとっても大切な役割が与えられていますよねー。

ですから設備が未永く完璧に働けるように 大切に維持してゆきましょう！



西日本防災システム
NISHINOH BOHSAI SYSTEM Co., Ltd
<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 